

中古車情報の読み方 ・ ・ ・ 掲載票のどこを、どう読むか

左が掲載情報の見本、右がその読み方です。番号が対応しています。同じ車種でも1台ずつ状態がちがう ・ ・ ・ その差はここに表れます。

見本の内容は説明のための架空のものです。特定の車両・販売店を示すものではありません。

掲載情報の見本		項目	本当の意味 言葉の定義	ここを見る 判断のしかた
7 本体価格 〇〇〇.〇万円 支払総額 〇〇〇.〇万円（諸費用込み）		1 年式	初めてナンバーが付いた年月。モデルの世代とは別のもの	同じ年式でも、途中で改良されていることがある。運転支援が付く年式かを必ず確認
1 年式 2019年（令和元年）		2 走行距離	これまで走った距離。年1万kmが一般的な目安	少なすぎる車も、長く動かしていない心配がある。内装のすり減りと釣り合うかを見る
2 走行距離 4.2万km		3 修復歴	車の骨格にあたる部分を修理・交換した履歴。外板を直しただけなら含まれない	初めての中古車なら「なし」を選ぶのが安全。「あり」なら、どこをどう直したかを具体的に聞く
3 修復歴 なし		4 記録簿	点検や整備を受けた記録。いつ、どこで、何をしたかが残る	この講でいちばん見てほしい項目。あるかないかで、その車の育ち方が分かる
4 記録簿 あり		5 車検	次の車検までの期間。残りが長いほど当面の出費が少ない	残りが短い車は安く見える。車検費用を足してから他の個体と比べる
5 車検 2027年3月まで		6 保証	販売店やメーカーが、一定期間の故障に対応する約束	期間・距離・対象の部位・免責の条件を書面で確認。口頭の説明だけで決めない
6 保証 1年・走行距離無制限		7 価格	本体価格と支払総額は別。総額には諸費用が入る	必ず支払総額で比べる。本体が安くても総額で逆転することがある
所有者	ワンオーナー			
駆動	2WD			
色	パールホワイト			
装備	衝突被害軽減ブレーキ、両側電動スライドドア			

相場の調べ方と、安すぎる個体の見分け方

- 中古車の情報サイトで、車種・年式・走行距離をそろえて検索する
- 出てきた個体を10台ぶんくらい眺めて、価格の帯をつかむ
- その帯より明らかに安い個体を見つけたら、安い理由を聞く
- 理由に納得できれば買い得。はっきりしないなら見送る

走行距離が多い	納得できる。距離と価格のつり合いで判断
不人気な色・グレード	納得できる。むしろ狙い目になりうる
車検が残り少ない	納得できる。車検費用を足して比べればよい
修復歴がある	内容による。どこをどう直したかを具体的に聞く
説明が曖昧・書面がない	納得できない。見送る